

50 ありがとうを
未来へ 周年

福島医療生活協同組合

ふくしま



2019年9月号 第403号
発行責任者 渡辺 幸夫
<http://watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合	TEL 024-522-1236	〒960-8141	福島市渡利字中江町66番地
医療生協わたり病院	TEL 024-521-2056	〒960-8141	福島市渡利字中江町34番地
生協いの診療所	TEL 024-562-4120	〒960-1301	福島市飯野町字後川27-2
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず	TEL 024-559-2664	〒960-0241	福島市笹谷字釜谷地20-1

医療生協

夏休み
企画

こども病院 たんけん隊

毎年恒例の子ども病院たんけん隊が八月九日に行われました。今年もたくさんの子どもたちが体の不思議を考えたりしながら、病院の中を探検しました。



お母さんの心臓の音...
ちゃんと聞こえるよ



初めての車いす
ドキドキ



片手でズボンは
はきにくいよー



研修医の福地先生から体の話を聞き、人体模型の内臓ひとつひとつを触ってみました。聴診器でおなかや心臓の音を聞いて、生きてるサインを確認しました。放射線科ではレントゲンの写真を見たり、CTの台に乗ってみました。足に重石をつけて利き手

…病院ではどんな仕事をしているのかな。見たり、聞いたり、体験したり、先生とお話したり、病院を探検してみたよ!



僕にもさわらせて! 私も! (人体模型)

人間の体の不思議さ、年をとっても障がいを持って頑張っていること、大変さ、大切さ、命の尊さを体いっぱい感じてくれたようです。

福島医療生協では毎年この企画を続けています。参加者の中から「昔小生の時に、わたり病院の病院たんけん隊に参加したのがきっかけです」と言って、医療従事者として私たちの仲間になってくれたらうれしいですね。

と逆の手でズボンをはいたり、車いす体験もしました。初めての体験に参加したみなさんは、ちょっとびっくりしたり、大声で笑ったり、楽しい一日を過ごしました(保護者のみなさんも一緒に楽しんでいました)。子どもたちに、命を大事にする心を持ち続けてほしいと願い、職員と組合員が一生懸命考えた企画です。

写真で振り返る 福島医療生協の50年

⑥

「いのちの平等」を掲げて…福島診療所開所時(一九七〇年)



筆者左端

小さな診療所の前の五人、これがわたり病院の「前身」である福島診療所発足時の全職員です。私は、学生時代に宮城県、の坂総合病院でソーシャルワーカーをめざしての実習を通して、「こんな医療機関で働きたい」という思いをかためていました。おりしも、実家のある福島市で民医連の診療所建設が予定されていることを知り、迷うことなく職員募集に応募しました。

この小さな診療所は、福島の医療を大きく変えました。

就職時にはまだ、開所もしていない小さな診療所でしたが、そこにはたくさんの人たちの熱い思いがあふれていました。私が強く心を動かされたのは、診療所建設に向け一口千円の出資金を、日雇い労働者の人たちが日々の苦しい生活の中から百円ずつ捻出して毎月届けてくださったことでした。「自分たちの命と健康を守るのは権利だ」という姿勢は医療生協(民医連)の理念そのものでした。絶対にこの人たちの瞳を曇らせてはいけません。これが、私の医療生協職員としての人生を貫く信条となりました。そして、それは建設にあたった人たちの共通する気持ちであったと思います。

大きくなったわたり病院は、老人介護をはじめとする、医療・福祉問題を市民の立場から克服する可能性を広げていると思います。人の命より「生産性」を優先させる政権の動向に、医療・福祉・介護の立場から待ったをかけた。設立当時の多くの人たちの熱い思いがますます大きく燃え上がることを心から期待しています。

元福島診療所
ソーシャルワーカー
小川 昌子

健康づくりチャレンジが始まります！

組合員活動部 関場 和史

今年も福島県内五つの医療生協（福島・きらり・郡山・浜通り・会津）が協力し行う健康づくりチャレンジが始まります。健康づくりチャレンジは、日常生活のちよつとした工夫から、健康習慣を身につけるきっかけとなり、目標をたてて取り組むことで、健康習慣を定着させることが目的です。

福島県の活動であるふくしま健民バスポート事業の

『ふくしま健民アプリ』のポイント付与企画は昨年引き続き実施します。スマホ世代の若い方々はもちろん近年シニア世代でもスマホを持っている方が増えており、アプリを通じて健康づくりに関心をもっていただければと思います。さらに、子どもを対象にした「キッズチャレンジ」もありますので、保育園や幼稚園、学校や地域の育成会な



どでご利用ください。

【チャレンジ内容】

一般用は、医療生協がすすめる八つの生活習慣+なん

新任Dr. 紹介



わたり病院 小児科
坂本 奏子 医師

入職のごあいさつ

組合員のみなさま、初めまして。この度、わたり病院小児科に勤務することになりました坂本奏子と申します。須賀川市出身で、県立医大に通った六年間は福島市に住んでいました。卒業後県外へ出ましたが、今回縁があつて福島

県に戻り、わたり病院で働けることをうれしく思っています。

こちらに来る前は、長野県の佐久市というところに住んでいました。南に八ヶ岳連峰、北に浅間山が一望でき、

カラッとした高原地帯で夏はさわやかな気候です（冬は極寒です）。ですので、「福島ってこんなに暑かったかしら？」と夏バテになりながら原稿を書いております。趣味はスロージョギングです。涼



しくなったら阿武隈川沿いを走りたいですね。

組合員のみなさまやお子さんのお役に立てるよう、また福島に少しでも恩返しできるよう仕事に臨みたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

チャレンジコース

《一般用》 9つのチャレンジコース

①さわやか運動コース
②バランス快食コース
③歯とお口の健康コース
④しっかり睡眠・休養コース
⑤禁煙・適度の飲酒コース
⑥脳いきいきコース
⑦健康チェックコース
⑧家族一緒にキッズコース
⑨なんでもチャレンジコース

《キッズ用》 8つのチャレンジコース

①おてつだいコース
②ごあいさつコース
③はみがきコース
④うんどうコース
⑤はやね・はやおきコース
⑥あさごはんモリモリコース
⑦すききらいをなくそうコース
⑧なんでもがんばるコース

でもチャレンジコースの九つのコース。キッズ用は、八つのコースを設定しています。（左記参照）

《一般コース》

二〇一九年度は主に三つ（運動・口腔・減塩（快食））のコースに力を入れて取り組みます。

運動コースでは「紙上ウォーキング」として実際に歩いた歩数分、地図を塗りつぶして進んでいくお楽しみ企画もあります。スマホを持っていないので健民アプリがでない！と言う組合員さんの声をヒントに作り出した。楽しみながら運動できるきっかけになればと思います。

機関紙配布して くださる方大募集!!

現在お読みいただいている福島医療生協の機関紙を、近隣の組合員さんに配っていただける方を募集中です。年九回の発行予定です。ご協力いただける方は組合員活動部までご連絡ください。よろしく願いいたします。

●組合員活動部

024-522-1236



まずは一人一つのコースを三十日間継続してみましょ。もちろん前記三つのコース以外にチャレンジしてもかまいません。

ためには、子どものころからの生活習慣が大切です。「けんこうキッズチャレンジ」は規則正しい生活習慣を身につけ、これからの健康づくりのきっかけづくりとして活用してください。親子でチャレンジすればより一層楽しく出来ますよ。

《キッズチャレンジ》 健康な生活を送っていく

ひとりでは続ける自信がないあなた、ぜひご家族や友達を誘ってチャレンジしてみてください。一般・キッズともに三十日間取り組み、チャレンジシートを提出いただいた方には、記念品を差し上げます!!

パンフレットは、地域の役員さんや班長さん、わたり病院や各診療所にあります。また福島医療生協組合員活動部までご連絡いただければ、送付いたします。お気軽にお問い合わせください。

高すぎる国保料の 引き下げを

その②



副理事長
齋藤 和衛

新たに始まった国保都道府
県化、際限ない国保料引き
上げ

市町村は、住民の家計を
考慮しつつ健康を守る国保

事業を進めるために、独自に
一定の財源を国保財政に補
てんしてきました。国はこれ
を赤字補てんと称してこれ
まで削減・財政健全化を繰
り返し求めてきました。

ちょっと
いい話
10

猛暑の中、草むしりには木の
剪定をしてくれた組合員さん

蝉も落ちそうな猛暑の
七月三十一日、本部にSさ
んが顔を出されました。
話を伺うと、「道路沿いの
立木と雑草が伸び放題
だったので刈り込んでお
きました」とのこと。二日
後には「タクシーが止まる
所もやっておきました。目
立つところだから」「かな
り短く刈ったけど、その方
が管理しやすいと思いま
す」と。

「この暑いのに申し訳ご
さいません」とこちらが言
うと、「私は以前、渡利に
住んでいて、丹治先生や故
松崎新男さん（元渡利担
当理事）にはお世話になっ
たんですよ」「なにかあつ

たら、最後にはやっぱりわ
たり病院にお願いしたい
と思ってるから大事にし
たいんです」「私は山木屋
の出身ですが、きれいな
い所なんです本当は。今の
（原発災害以降）の状況は
嘆かわしい。そういうこと
も考えて、自分にできるこ
とで少しでも地域をよく
したいと思うんです。安倍
首相にもそういうことを
考えてほしい」と。

Sさんは優しく熱い言
葉を残して、奥さんの介護
があるからと、にこやかに
自転車で帰って行かれま
した。暑い中、本当にあり
がとつございました。

昨年開始した国保の都道
府県化では、財政は県が担
当し、市町村は徴税と保健
事業を行う制度になってい
ます。国は標準となる標準
保険料率を県に示し、県は市
町村の国保の収入・支出状況
を考慮しつつも国の標準に
合わせ市町村に標準保険料
率を示します。この制度で自
治体が行う一般会計からの
補てんを含む保険税軽減措
置は一段と縮小させられ、保
険料引き上げが強要されま
す。

市町村ごとの財政規模と
加入者の階層の違い、年度ご
との医療給付総額のばらつ
きを緩和するというのが制
度導入の目的とされます。
しかし、「基金からの一時的
貸付」が用意されているだけ
で「赤字自治体」への交付金
があるわけではありません。
赤字は自助努力で削減せよ
というわけです。

制度開始した昨年度の標
準保険料試算では政府が三
千四百億円もの激変緩和支
援金を用意したため大半の
自治体は据え置きまたは減
となりました。しかし本格
的に始まる今年は半分以上
で引き上げされ大問題にな
っています。しかも加入者
の高齢化、医療技術の進歩に
より給付費は増加すること
から国は標準保険料率を上
げる見込みですから、今後数

禁煙ポスターコンクール 入賞者を紹介します。



昨年、禁煙ポスターコン
クールへの応募を呼びか
けたところ、三十八校から
四百二十一作品が寄せら
れました。福島医療生協
のコンクールの後に、全作

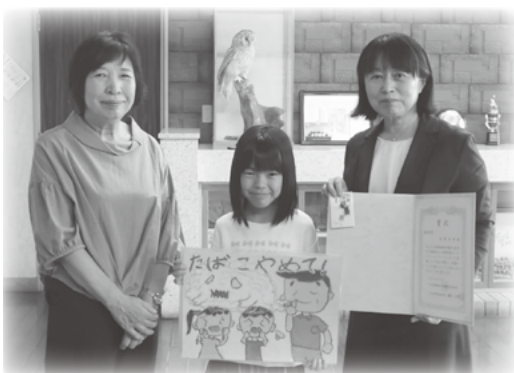
品を日本医療福祉生協連の
全国コンクールに応募した
ところ、最優秀賞に渡利小
学校現三年の高野詩葉さん、
佳作に杉妻小現五年生の柏
木萌音さんが選ばれまし

た。

七月にそれぞれの小学
校に伺い、表彰式を行いま
した。二人とも、「また、禁
煙ポスターを描いて応募
したいです」と、とても喜
んでくれました。

福島医療生協では、今
年も各小学校を通じて禁
煙ポスターを募集してい
ます。募集期間は九月三
十日までです。

詳細はお問い合
わせください。
応募作品は十一
月七日（木）から
十一日まで「コ
ラッセふくしま・
一階アトリウ
ム」にて展示し
ます。みなさん
ぜひ見に来てく
ださい。



【最優秀賞】 高野 詩葉 さん
(右は校長先生、左は八谷保健担当理事)



【佳作】 柏木 萌音 さん
(左は校長先生)

に、二〇一四年全国知事会は
「保険料を協会健保並みに
抑えるために、国に一兆円公
費負担増」を求めました。そ
の後全国市町村長会も同様
に求めています。

自治体には健康を守る機能
をこれから果たせるよう
強く求めていかななくてはな
りません。

国保は被用者保険、生活
保護とともに社会保障・医
療保障の根幹をなすもので、
よく説明パンフレットに見か
ける「互助組織」ではありません。
国保制度では、健康事
業や医療機関の運営などを
含む役割も担っています。各

※協会健保…従来の政管健保
(中小企業の被雇用者向
け)が都道府県単位に再編、
各県で医療費抑制策を進め
るとともに保険料も決めて
いる。(福島県の四十歳以上
は収入の一・四七%)

一兆円の国の負担を求める

国保料引き上げは難しい
ことと、国保料軽減のため



新たなつながりを創り 真の復興を！

壁沢復興夏まつり

組合員活動部
松崎 聡



川俣町壁沢復興住宅は、飯館、葛尾、浪江、川俣等の方々が住まわれています。NPO法人みんぷく（みんなが復興の主役！）から依頼を受け、福島医療生協では二年前から毎月健康チエックや体操を行ってきました。「やってもらえばいいでなく、自分たちでやってみよう」と昨年末に川俣支部壁沢さくら班が誕生しました。少しずつ参加者も増えてきています。

今年六月の班会の時に、自治会長から「七月二十八日の復興夏まつりで、体操でもやってもらおうといいんだけど……あ！あの北国の春の体操がいいな」と依頼されました。「夏ですがいいんですか？」「大丈夫。みんな好きだし、あれだと初めての人も踊れるから」といわれ、物品販売も兼ねて福島医療生協として参加させて

もらいました。

当日は台風一過の晴天で、復興住宅の方、周辺地域の方、支援の方、ボランティアの学生など多くの方々が参加されました。多くの出店も出て、暑いけど楽しい手作りのお祭りでした。

企画の後半にいいよ私の出番！ボーカルは渡邊自治会長にお願いし、いつものように「しつらかばあ」と踊ります。集会所の中から出てきて、暑い中笑顔で踊るさくら班の方々。福大の鈴木教授や学生の応援もいただき、たいへん盛り上がりしました。曲の三番には、プロのトランペッターNoboyさんが生演奏で加わってくれました。

震災や原発事故からの復興はまだ終わっていません。道路や建物の建設や除染だけでなく、壊れたコミュニティ、人のつながりを復興していくことが最も大事です。壁沢の活動にもみられるように、たくましく新たなつながりをつくる活動が各地で行われています。私たち福島医療生協の大きな役割として、新たなつながりを創る真の復興を協同して進めていかなければと思います。

原水禁世界大会長崎に参加して「8月7日～9日」

● 霊山支部

平中 廣治

被爆者が話をされました。「戦争がなければ、私たちは原爆で爆死することはなかった。」

広島、長崎と日本は二度にわたり原爆を投下された国として、核兵器禁止条約に署名し、批准することを政府に求めることは当たり前だと思っています。

原水爆禁止世界大会で学んだことを伝えるとともに、ぜひ若者に参加をしてもらい、この大会の意義や大切さを広めてほしいと思います。

● 南三階病棟看護師

菅野みなみ

原水爆禁止世界大会に参加し、碑めぐりや被爆者のお話を伺うなかで、核兵器の恐ろしさを痛切に感じました。

また、原発に関するフォーラムに参加し、日本の現状や課題について学びました。核兵器や原発のない世界を実現し、一人ひとりの命や人権が尊重され、安心して



無料 法律相談会

- 日時 毎月第2木曜日 13:30～15:30
※日にちは変更になる場合があります。
- 場所 医療生協わたり病院内
事前申込制 Tel. 024-522-1236
- 相談員 あぶくま法律事務所弁護士

INFORMATION

これからの行事

松川事件70周年記念全国集会

- ◆ 日時 9月21日(土)～22日(日)
- ◆ 場所 福島大学

第33回日本高齢者大会

- ◆ 日時 9月25日(水)～26日(木)
- ◆ 場所 郡山市磐梯熱海

北海道東北ブロック 組合員活動交流集会

- ◆ 日時 11月26日(火)～27日(水)
- ◆ 場所 穴原温泉 吉川屋

組合員のみなさんからの記事を募集しております。
ご意見ご感想、身の回りのことなどをお寄せください。
素敵な作品なども大歓迎です。



- お問合せ
福島医療生協組合員活動部
Tel. 024-522-1236

★ふるさとの歴史探してみませんか★ 47 満蒙開拓平和記念館を訪ねて（長野県）

蓬萊支部 菅野 家弘

テレビで放映中の「やすらぎの刻」で山梨の山村からの満州移民が描かれ、久しぶりに満蒙開拓が関心を持たれている折、長野県南部の阿智村の満蒙開拓平和記念館を訪ねた。



「満州に行けば二十町歩の地主になれる」といった甘い誘いに乗せられ二十七八人も移住した。福島

満蒙とは満州（中国東北部）と蒙古（モンゴル）である。昭和初期、世界的な不況による農山村の困窮対策として、時の軍部は「満州国」をでつち上げ、満蒙への移民を国策として推進した。「満蒙は日本の生命線」、

県からも一万二千余人移住している。近所に体験者がおられると思う。
記念館では、九十歳にならんとされる元高校教師が熱心に案内してくれた。開拓地と言っても、実は中国の農民を強制的に退去させた土地であったこと。五族（漢、満、蒙、朝、日）協和、「王道楽土」のスローガンのウソ。終戦時の悲惨きわまる帰国。残留孤児となった人々の悲劇。

何十万もの日本人、中国人がマイナスの人生を強いられたのに、国策故か誰も責任をとっていない。戦後帰国してからも、再び開墾の鍬をうつことになる。そして、原発事故。館内に復元された満州の狭い家屋の所で考え込んでしまった。一体、国は何のためにあるのか。